

拠出金名:国際農業研究機関拠出金

国際機関等名	国際半乾燥熱帯作物研究所 (英文名称・略称) International Crops Research Institute for the Semi-Arid Tropics (ICRISAT)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省農林水産技術会議事務局国際研究課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成22年度	46,913	499		1米ドル = 94円	100
平成21年度	55,020	534		1米ドル = 103円	100
平成20年度	-	-		-	-
当該拠出金の目的・用途等	研究プロジェクトの実施				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)				国際機関等の財政 (2010年度決算)(百万米ドル)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率 (%)		
1位	日本	499	100.0	当該年度の収入 64.7	
2位				当該年度の支出 61.2	
3位				次年度への繰越 3.5	
4位				会計検査機関名	
5位				KPMG国際協同組合	
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
ICRISATとは従来から邦人専門家が滞在して共同研究を実施して熱帯作物の生産性向上に資する成果が生まれている。近年、干ばつによる穀物の不作が頻発し、飢餓・貧困に苦しむ人口が多い熱帯半乾燥地域での持続的食料生産に資する研究の重要性が高まっている。こうした地域で栽培されるマメ類や雑穀について研究蓄積を有する我が国と連携を密にすることにより、開発途上国の持続的農業の発展に貢献すると考えている。ICRISATを含む国際農業研究協議グループ(CGIAR)全体で効率性を高めるための組織改革が行われており、我が国もこれを支援している。					
邦人職員数 うち幹部以上	2 人 うち 0 人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	1,190人うち 国際職員82人 国際職員中2.4%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
これまで6人の邦人が理事を勤め(2008年以降は不在)、多くの邦人研究者が在籍している。理事や主要ポストでの邦人の雇用に加え、様々な形態で邦人職員を派遣する等今後も積極的に邦人を送り込むための活動を行うこととしている。					